

# ASUたちばな会報

第2号（平成29年10月発行）

理事長就任のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	小林英三	1
退職後の楽しみ・・・・・・・・・・・・・・・・	首藤常雄	2
林住期から遊行期へ・・・・・・・・・・・・・・・・	堀田友三郎	3
老いて学ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・	中村郁元	6
名経専奉職に感謝・・・・・・・・・・・・・・・・	本川暉久	7
2017年度 総会次第・・・・・・・・・・・・・・・・		9
事務局より・・・・・・・・・・・・・・・・	成瀬正直	10

## 理事長就任のご挨拶

小林英三

昨年 10 月に小倉現学園長の後任として理事長を拝命いたしました。大変な重責を担わせていただくことになり、身の引き締まる思いです。

私は、名古屋に生まれ、高校時代まで名古屋で過ごしましたので、この機会に故郷で最後の職場人生を送ることができるのを嬉しく思っております。とはいえ、これまで 40 数年にわたって一貫して金融の世界に身をおいて参りましたので、教育の分野については、まったく知識も経験ありません。今は、小倉学園長はじめ法人本部の皆さんからレクチャーを受けながらいろいろ勉強しているところです。創立 110 年有余の歴史と伝統を持つ本学園ですから、学ぶことはたくさんあります。是非皆様方 OB の方々からもいろいろなお知恵をお借りしたいと思っております。

さて、この ASU たちばな会は平成 23 年発足以来はや 6 年が経過したとのことです。本学園で職場生活を共にされた方々の集いの場となる会が充実していくことはとても良いことだと思います。長年勤めた職場を離れ、新たな人生をそれぞれに歩まれるなかで、気楽に情報交換や体験を語り合える場であり、また現役の後輩にもいろいろなアドバイスをいただける場でもあるこの ASU たちばな会が、今後とも益々充実したものになって行かれることを期待しております。

私自身も、30 数年勤めた最初の職場を離れ、その後いろいろな経験を積む中で、最初の職場の旧友会は心のよりどころであり、またもっとも気の置けない仲間との集いの場でもあります。そしてそこで見聞きしたことがヒントになって、第二の職場での新たな発見につながったり、また趣味等の世界が広がったりいたしました。

私ども日本人の平均寿命は年々伸びており、ASU を離れてから 20 年、30 年の人生が待っております。その時間ができるだけ充実した楽しいものとなり、更にそれが母校の発展にもつながるとしたら、何とすばらしいことでしょう。ASU たちばな会を皆さんの手で、是非それを実現でき

る立派な会に育てていてください。私ども現役もお手伝いいたします。

## 退職後の楽しみ

首藤 常雄

私は学園に講師 2 年を含めて 43 年間勤務しましたが皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。退職して 11 年が過ぎましたが体調を崩し夫婦で海外旅行ができずじまいとなり大変残念です。

現在は毎日 40 分の散歩と毎日新聞の朝刊と夕刊で数独をやっています。また CD で音楽鑑賞をしています。良いステレオで聞くと音質が格段によくなり楽しさも倍増します。多くの好きな音楽や素晴らしい演奏家と歌手に出会えて幸せです。次に週 3 日グランドゴルフを続けています。2 つの 50m のコースでは力一杯打てるので気持ちがスッキリします。入った、出たなどと大声を出しながら楽しくやっています。(500 名参加して行われた大会で偶然優勝したことがあります。) 花の少ない時期の 1 月から 3 月末までは 35 鉢の椿を温室や縁側にいれて 1 ヶ月早く咲かせ楽しんでおります。(大河ドラマ直虎のタイトル画像に素朴だが奥の深いと言われるヤブツバキが主役格で登場していますが)私は上品なものや豪華な品種の椿にはまっています。4 月からはバラやチューリップ、ユリなどの花や夏野菜を楽しんでいます。少しずつぐりした品種のきゅうりに熱中し毎日 10 本ほど収穫して知人にあげ喜ばれています。

私は写真部の顧問を 30 年勤めたこともあり写真を撮りに主に日帰りでよく出かけました。私が良かった思ったところを次に挙げさせていただきます。まず山中湖、忍野八海、河口湖と千円札の富士の本栖湖から見た富士山は裾野まできれいで第一の絶景です。次に桜の絶景は吉野山、京都の醍醐寺と名阪針インターより近い長谷寺で見られます。また少し遅れて 4 月半ばに見ごろとなる琵琶湖北岸にある海津大崎の桜のトンネ

ル、名古屋市守山区北端の東谷山フルーツパークのしだれ桜と雪山を背景に咲く高遠の小彼岸桜は桜の名所として見逃せません。さらに可児市の花フェスタ記念公園のバラ、形原温泉のアジサイと伊良湖ビューホテルすぐ東側浜辺にあるフラワーパークの菜の花は規模が大きく見応え十分です。続いて知る人ぞ知る場所として米原のすぐ東 JR 醒井駅近くバイカモ揺れる 1 キロの清流、中津川より 19 号線 30 分北上にある 3 キロ巨石が続く清流でエメラルドグリーンの淵もある阿寺溪谷と新城の少し北部にある秘境で一面梅花におおいつつまれる川売の里があります。いずれも心が安まる所です。(そして眼下に白樺湖を見下ろし 6 月 20 日頃はレンゲツツジ、7 月 20 日頃ニッコウキススゲ、さらに 8 月 20 日頃はやや少ないがマツムシソウが咲き誇り晴れた日には富士山もきれいに見える高原のドライブコース霧が峰ビーナスラインは最高でした。) 最後に秋の紅葉は香嵐溪の飯盛山に登る途中や山頂と京都の永観堂が最もきれいで感動しました。

体調優れず遠くへは行けなくなりましたが今後は少しでもながく前述のことを続けていきたいと思って降ります。皆様の健康に留意され楽しい生活を過ごしてください。

### 林住期から遊行期へ

堀田友三郎

学園創立 110 周年式典が平成 29 年 4 月に挙行されました。まことにおめでとうございます。110 年という歴史は紆余曲折あったとはいえ、素晴らしいものです。人間ではまず、無理な年数であります。生身の人間は必ず息絶えます。よくお元気ですねと言われますが、年齢から見ると元気ということで、裏にはいつまで頑張っているのだという声があります。組織は違います。本学園内の工業高校は 1961 年創立です

から 56 歳です。ELIC が 1978 年創立ですから 39 歳です。1987 年創立の三河高校、1992 年に創立された愛産大、30 歳、25 歳と働き盛りです。しかし、これは人間ならではの話、組織では年齢は関係ありません。歴史の重みはありますが、年齢を重ねても元気さは関係ありません。1908 年にミシンの修理業から始まったブラザー工業(株)は 109 歳ですが、当地区を代表する優良企業で、次々と新たな事業に取り組みられている若々しい企業です。創業時の主力事業、家庭用ミシンなどのパーソナル・アンド・ホーム事業は全売上収益の 6.9%です。通信・プリンティング機器が 50%を超えています。学園でも同じだと思います。元気な学校は次々と新しい学科を生み出し、世の中から求められる人材を送り出していきます。働き盛りの多様な学校が並ぶ学園各校に期待がかかります。

学園各校の創立時以来の苦しい時代を支えてきた人たちが定年を過ぎ、この ASU たちばな会で学園の今を見守ります。皆さんが林住期の終わりから遊行期にかかる方々です。私もその中の一人です。前述しましたが、人間には寿命があります。誕生、成長、成熟、老衰、死を避けては通れません。古代インドのバラモンでは四住期という考え方があったそうです。「学生期（がくしょうき）」将来に備えて学問、技術、教養を身に着ける時期、「家住期（かじゅうき）」勉学や訓練を終えて職業を持ち家庭を営む時期、「林住期（りんじゅうき）」その勤めも果たし、自然に向き直って自分自身の人生を静かに見つめる時期、「遊行期（ゆぎょうき）」家を捨て死に場所を求めて放浪と祈りの余生の時期、と人生を四つの期に分ける考え方です。人生 100 年とすれば 25 年ずつになります。五木寛之氏が『林住期』、『遊行期』という著書を書いています。氏は 50 歳から林住期、75 歳から遊行期だと書いています。『林住期』の巻頭で五木寛之氏は《「林住期」とは社会人としての務めを終えたあと、すべての人が迎える、もっとも輝かしい「第三の人生」のことである。》と書いています。この ASU たちばな会の会員諸氏の大半はまさに「第三の人生」の最中にあります。わたしも今春から自由人になり第三の人生を謳歌しています。前の勤務先から請わ

れましたが、前述のような考えもあり、格好良く辞めて、組織を離れ林住期末期から遊行期に向けての充実した生活を始めています。人間にとって大事な能力は記憶力、コミュニケーション力、体力だと思います。私の持論ですが、小学校、中学校、高校時代は記憶力が良ければ優等生になれます。社会に出ればコミュニケーション力が重視されます。老後は体力です。もちろんこの三つの能力は生涯を通じて大事ですが、それぞれの年代で重視される度合いが異なります。

私は、還暦を過ぎてからは体力が何よりも大事だと思い、取り組んできました。60歳からウォーキングを始めました。しばらくして膝を痛めましたが、ヒアルロン酸を注入して快復し、その後はスロージョギングも始めました。スポーツジムにも通い始め、ヨガやエアロビックスにも取り組んでいます。ボウリング教室に通い出し、今ではボウリングリーグ戦に出ています。認知症にならないように、頭を多少は使い学術論文ではなく、雑文を執筆し、社会的活動に取り組んでいます。お蔭で心身ともに健康な毎日を過ごしていますし、入院生活を送ったこともありません。今までは、ですが。健康があつての「第三の人生」だと思います。

学園内の各学校は働き盛り世代です。というか、組織には寿命はありません。組織構成は人です。一人ひとりが在職する組織でやる気を持って仕事をすれば200年、300年と生き続けることが可能です。私たちが長く所属した組織が元気に成長してくれるのはうれしいことです。学園を取り巻く環境は大きく変化していますが、学園各校もこれに対応していこうと取り組んでみえます。これからも学校法人愛知産業大学が成長発展していくのを見守っていくのがASUたちばな会の役割だと思っています。

## 老いて学ぶ

中村 郁元

退職して早や 10 年、その間、非常勤で 5 年勤めさせて頂きました。人生の大半を愛産大高でお世話になりました。有難うございました。

在職中は生徒達から元気をもらっていましたが、現在は、いかに健康寿命を保ちながら充実した人生が送れるのかが課題です。

そんな折、講師時代の、同僚の加藤先生(技術士：建築・総監)より、技術士の勉強会に誘いがありました。これは良い機会と思い、一般人として参加させていただく事にしました。

講師の先生方(技術士)は、自分たちの分野にとらわれなくて、異業種とのコミュニケーションを通じてお互いのモチベーションを高め、果敢に挑戦をしておられます。

また、環境大学共育講座とも連携しております。会では、同年配の方々も多数参加されており。私も、新しい事を覚える事は、脳の活性化に良いと思い、学ぶ楽しさと好奇心と相まって、参加させて頂いております。

この会では毎回、様々なテーマを取り挙げていますが、技術的な内容が殆どです。参加した最近の勉強会での一部を抜粋し、その一端を記しますと次の様なテーマです。

「原子力の安全性について」・「理科教育の実践の仕方・教材も含めて」・「MRJ の開発状況について」・「日本の知的財産戦略について」・「環境問題の PM2.5 について」・「ネイチャーテクノロジー」、「機能性繊維」「新幹線について」等々、

その中でも、特にネイチャーテクノロジーは植物や昆虫の生態を学び、我々の生活に応用する考え方は、特に興味を掻き立てられました。

生物は高機能な特徴を持っており、生物多様性と工業がリンクしていることを知ると興味が更に湧いてきました。自然界から学ぶことも多く、改めて自然の大切さ知る事が出来ました。

我々の暮らしを豊に暮らすには、生物からの模倣、自然界を参考にするテクノロジーが必要不可欠になっており、インフラはもちろんの事、

電化製品・建築・ロボット・医学・飛行機・監視・管理、など広く利用されております。生物からの利用技術は、今後、益々進化するものと思われる。

今このような、「知識」をつけるのにいまさら感も強いのですが、老いても、学ぶことにより、残り少ない人生を少しでも健康寿命でいたいと願うからです。

講師をされる、技術士の先生方は専門の事はもちろん、専門外の事も講義され、常に勉強しておられ広い視野に立って説明されます。また、膨大な資料作成についても相当な時間を費やされて本当に頭が下がる思いです。

江戸時代の儒学者の斉藤一斎氏は「老いて学べば即ち死して朽ちず」の言葉あり。学ぶ楽しさを満喫し、年老いても刺激を受けて自己研鑽を積み、人生を少しでも豊に出来ればと思っています。健康に不安を抱きながら、充実した人生をまっとうする事が出来れば幸いです。

## 名経専奉職に感謝

本川 暉久

昭和 53 年 10 月から平成 15 年 3 月まで名経専に奉職、その後大学(短大) 通信教育部へ転勤平成 23 年 10 月まで学園にお世話になりました。

今年も名経専で過ごした卒業生及び教職員の方から 100 通を超える年賀状を頂き懐かしき良き日々の交流を思い出した正月でしたが今回の記事担当になりましたので思い出深い幾つかを紹介します。

◎名古屋経営経理専門学校時代

○「昭和 54 年初めて担任 (1 年課程)、W 学習成功させたこと」

昭和 53 年開校の 1 期生に進級できなかった転科学生 (故戸田先生、

高井先生の教え子)を担任、無事卒業(同時に近畿大学短大併修卒業)させたことは最初の喜びであった、現在自営業で頑張っている。

◎名古屋法経専門学校、名古屋法律経済専門学校時代

○「税理士コースで国税専門官を輩出したこと」

岩手県釜石市出身学生で税理士合格はできなかったが国税専門官受験指導し合格、現在も東北管区各税務署を転勤しつつ頑張っている。(東日本大震災では1週間音信不通後無事での会話を思い出す、ご両親とも交流を続けている)

○「経理学習者卒業後に資格取得開業(関係業種従事)を輩出したこと」

日商簿記3級、2級、全経簿記1級を全員合格させたものの日商簿記1級及び税理士科目合格は少数で落ち込んだこともあったが「私は科目合格で終わったが私を追い越せば税理士になれる」と激励し送り出した、税理士合格報告は我が事のように喜ばしいことであった。

○「部活動で姉妹校大会優勝、全国大会出場できたこと」

バレーボール部顧問を担当、練習会場確保に明け暮れたが姉妹校大会優勝、全国大会出場し、我が家での祝勝会で学生から家内と娘に笑顔でのお礼があったこと、深夜まで学生と語りあったことを思い出す。また、側面応援であったが野球部、サッカー一部も全国大会出場を勝ち取り引率したことも学生との懐かしい交流であった。

このように名経専で過ごせたことを関係の皆様へ感謝申し上げます。

## 「2017年度 ASUたちばな会 総会」

日 時：平成29年10月14日（土）11時～12時

場 所：愛知産業大学工業高校 橘校舎 3階会議室  
名古屋市中区橘2-6-15 TEL 052-339-2781

内 容：

1. 開会のことば
2. 会場校の校長あいさつ  
工業高校 校長 長谷川 先生
3. 会長あいさつ
4. 新任役員紹介  
理事 杉浦 三雄先生、監事 渡辺 孝夫先生
5. 報告事項
  - 1) 平成28年度活動報告・会計報告  
第1回理事会 6月4日 法人事務局7階  
総会・第2回理事会10月1日 三河歯科衛生専門学校  
参加者10名、三河高等学校 学校祭見学  
ASUたちばな会報 1号 発行
  - 2) 平成29年度活動計画  
第1回理事会 4月15日 法人事務局7階  
学園110周年記念事業に参加 5月25日  
総会・第2回理事会10月14日工業高等学校橘校舎3階  
ASUたちばな会報 2号 発行  
新年会の開催 平成30年2月3日（土）、12時より  
名鉄神宮前駅すぐ「弁天」、  
会費 6,000円
6. その他
7. 閉会の言葉

以 上

## 事務局より

今回、会報2号を発送することになりました。これは、皆様のご協力の賜物だと思っています。ありがとうございます。

また、去る5月25日には学園110周年記念事業完成式典に、本会より一部ではありますが参加させていただくことが出来ました。今回の寄付金は、工業高校の伊勢山校舎（教習棟）、橘校舎（体育館・講堂）に募集されたものです。皆様のご協力により立派な建物が完成しました。

今後も周年記念事業、学校祭等に継続的に参加しようと思っています。ご都合の良いときに参加願えるようイベントを用意したいと思っています。

「ASUたちばな会」への入会をしておけば学園のホームページにも掲載されていますので、ご確認のうえ参加していただければと思います。

連絡先：学校法人愛知産業大学  
法人事務局業務部業務課 成瀬

eメール：naruse@asu.ac.jp

住所：〒460-0016

名古屋市中区橘 2-6-15

T E L 052-339-2781

F A X 052-339-2782